



総合「名人にチャレンジ」(四年生)では、地域の名人の技を学ぶ取組と、けん玉や独楽に挑戦しました。「夢中になることが大切」「継続によりコツを体得」等、すべてに通ずる上達論を学びました。
(旭川市立愛宕東小学校)

No. 110 (平成24年3月1日)

お も な 内 容

	ページ
随 想	1
研究の成果と課題、 研究員の実践	2
研究員の実践・ 研究協力校の実践 ...	3～5
研修講座寸描	6・7
出前講座寸描	8
平成24年度研修講座開催一覧.....	9
講座手続き方法について	10
新講座紹介、お知らせ	10

随 想

「大震災が教えてくれたもの」



上川教育研修センター組合教育委員会

教育委員 石 田 政 充

教育に携わる皆様には学年末、年度末の中で忙しい日々をお過ごしのことと思います。

昨年の東日本大震災から一年が過ぎました。この一年間全国の人がそうであるように物の価値観や死生観が大きく変わった様に思います。安全であると思っていた原発や電力問題のようにあつて当たり前だと思っていたものの大切さを思い知らされました。

このことを思うとき、大震災は「生きる喜び」と「互いを思いやる心」を私達に教えてくれたのではないのでしょうか。人と人の絆や人を思いやる心を大きく感じた一年であり、奇しくも大震災が日本人の忘れかけていた心を思い出させてくれたように思います。

この大震災という大きな経験を踏まえ教育に携わる私達は何を考えることが求められるのでしょうか。それは「命の尊さ」であり「社会や地域の中でたくましく生き抜く力」であり「やさしく人を思う心」であると思います。今一度その事を問い直してみる必要があります。

さて、子どもの心は三歳頃までにその基本ができあがります。良い事も悪い事も判断がつく心が育ちます。そして、その時代に家族の愛情をたくさん受けることが、その後の人格形成に大きな影響を与えるとされます。

このことを考えますと、家庭教育の大切さを深く感じます。「良い事は良い」「悪い事は悪い」と毅然とした態度をもち、家庭でしっかりと子どもを育てることが大

事です。

現在の社会は、子どもたちが育つ環境としては決して良好であるとは思えません。

しかし、このような時代であるからこそ、家庭の目が届かない所を地域社会がいかに補完し子供を見守り育てていくのか、その大切さを知ることができそうです。

私達は家庭や地域と共に連携し、たとえ小さな取組であっても、それぞれの立場で出来る事を取り組んで行くことが必要であると思います。

今回の震災で感じた苦しみや悲しみを糧に地域全体のつながりが更に深まればと思うところです。

この震災を乗り越えようとする人々の営みとその心を子どもたちにしっかりと伝えることが必要です。子供たちがそれを受け止め、やがて大きな人間として社会に巣立つことを願って止みません。

研修センターでは今年度も大勢の皆さんに研修の場として利用頂きました。研修を通し研鑽された多くのことを力にし、共に受講した同士とのネットワークを大いに活用し、互いの持つ多くの課題解決に向け努力して下さい。

「教育は人なり」と言われます。教育に携わる私たちが、強い思いをもって子供達と向き合い全力で取り組む事が大切で

す。私たちの努力が報われる時それは生き生きとした子供達の姿を見る時でありま

センタ－日誌



年一回、地域の福祉施設を二年生が訪問しています。合唱披露、動物当てゲームやペットボトルボーリングを企画し、手作りの道具で入所者の皆さんと交流を深めています。(幌加内町立幌加内中学校)

11月16日	研修事業拡大会議
12月13日	冬季拡大研究室会議
12月26日	11月11日
11月5日	研究室冬季集中研
1月19日	冬季合同所員研修会
1月31日	センタ－運営協議会
2月7日	センタ－組合教育委員会会議
2月17日	センタ－研究発表会
3月1日	センタ－組合議会定例会
3月30日	センタ－だより第110号発行
	平成24年度研修講座開催要項
	平成23年度研究紀要第37号発送

上川教育研修センターでは、理論研究と実践検証を行った結果、次のような成果と課題を明らかにすることができました。

成 果

- 1 問題解決的な学習過程を基に、指導計画を作成したことにより、児童生徒一人一人に身に付けさせなければならない知識や技能、考え方などを明らかにすることができた。
- 2 目標を具体化したことにより、目標達成に向けた指導の在り方を改善することができた。
- 3 学習課題の設定や学習内容の提示を工夫したことにより、児童生徒の目標の達成と課題解決とを一体化することができた。
- 4 発問を工夫したことにより、児童生徒の思考を深めることができた。
- 5 「学習評価シート」の活用により、児童生徒の学習状況を適切にとらえ、具体的な手立てを講じることができた。
- 6 主に書く活動を位置付けたことにより、児童生徒の学習状況を適切にとらえ、目標達成につなげることができた。

課 題

- 1 主な評価場面として、学習指導要領の指導事項と目標との関連性を高めるための方策を吟味する。
- 2 単元の指導計画と問題解決的な学習過程とのかかわりを考える。
- 3 学習評価の妥当性、信頼性を高める日常的に活用しやすい「学習評価シート」の在り方を考える。
- 4 診断的評価、形成的評価、総括的評価の関連性を高める効果的・効率的な学習評価の工夫をする。

詳細は、3月発刊の研究紀要第37号をご覧ください。

研究室だより

今、研究室では

第十五次研究 一年次

研究主題「学力の確実な育成を図る指導と評価の在り方」

～目標達成に向けた授業構築～

研究員の
実践

～元との戦いと、「ご恩」と「奉公」の
関係とを関連付けて考えさせる発問の工夫～

東神楽町立東聖小学校六年 社会科「武士の政治が始まる」

～武士の世の中が始まり、時代が変化したことが分かる学習～

研究員 小野 義幸

一 本時の目標と授業仮説

本時の目標を「貴族中心の世の中から武士が勢力をもつようになったことと、鎌倉幕府の仕組みや幕府と御家人の関係、元との戦いで鎌倉幕府が衰えたこと」ととらえ、時代が変化したことをまとめ、記述できるようにする。とした。また、元との戦いと、「ご恩」と「奉公」の関係とを関連付けて考えさせる発問を工夫することにより、単元のまとめができ、目標を達成することができると考えた。

二 授業仮説に基づく分析

補助発問により、全国の御家人が集まった理由を「ご恩」と「奉公」の関係から考えさせることができた。主発問により、強大な元軍を撃退した事実と幕府が衰退した事実との関連を、「ご恩」と「奉公」の関係から考えさせることができた。また、既習事項と併せて鎌倉時代の移り変わりをとらえさせることもできた。

三 本時の目標達成状況

主に鎌倉時代について学習してきたことを学習プリントにまとめる場面において、目標達成状況を評価した。目標を達成することができた児童は、69%であった。なお、69%のうち、「ご恩」と「奉公」の関係が崩れたことを幕府と御家人の双方の立場から考えることができ、A「十分満足できる」と判断される児童は、11%であった。



研究員の 実践

～ものの長さを数値化して

説明する言語活動の設定～

旭川市立神楽小学校一年 算数科「おおきさくらべ(1)」

～身の回りにあるものの長さや体積を比べる学習～

研究員 北川 真美

一 本時の目標と授業仮説

本時の目標を「身の回りにあるものを任意単位として、重ね合わせることができない二つのものの長さの比べ方について、その幾つ分になるか数値化して考えることができるようにする。」とした。また、比べ方について説明する言語活動を行うことにより、本時の目標を達成することができると考えた。

二 授業仮説に基づく分析

鉛筆や消しゴムなどの身の回りにあるものを任意単位として、机の縦と横の長さを数値化して説明する言語活動を行った。これにより、直接比較できない場合は、任意単位を用いて数値化した数が多い方が大きいということを考えることができた。また、練習問題では、マスや車両などを任意単位とし、数値化して考えることができた。

三 本時の目標達成状況

主に練習問題を解く場面において、目標達成状況を評価した。練習問題を全て正解し、目標を達成することができた児童は、82%であった。なお、82%のうち、重ね合わせることでできない二つのものの長さを比べる問題で、時間内に解くことができ、A「十分満足できる」と判断される児童は、39%であった。



協力校 の実践

～多様な考えが生まれる発問と

一人一人の考えが分かる板書の工夫～

旭川市立緑が丘小学校三年 国語科「ちいちゃんのかげおくり」

～自分の思いを自分の言葉で表現する学習～

授業者 松田 隆之

一 本時の目標と授業仮説

本時の目標を「ちいちゃんが『かげおくり』で家族みんなに会えたと思ったことと、戦争によって置かれていた状況の両面から、ちいちゃんの思いや願いを想像して読むことができるようにする。」とした。また、叙述を基に多様な考えが生まれるような発問や、一人一人の考えが分かるような板書を工夫することにより、自分の思いや考えを深め、目標が達成できると考えた。

二 授業仮説に基づく分析

主発問により、「幸せ派」か「不幸せではない派」か、自分の立場を明確にさせた。さらに、児童一人一人の考えを交流させたことで、自分の思いや考えを深めさせることができた。また、板書において一人一人の考えが分かるようにネームプレートを活用したことにより、考えがまとまらなかった児童も「自分は〇〇くんの考え方に近い。」という自分の思いや考えをもつことができた。

三 本時の目標達成状況

主にノートに記述する場面において、目標達成状況を評価した。目標を達成することができた児童は、63%であった。なお、63%のうち、戦争によって置かれている状況や第一場面と第四場面の「かげおくり」を関連付けて記述することができ、A「十分満足できる」と判断される児童は、11%であった。



協力校
の実践

「気圧と気温の低下と水蒸気の
凝結とを関連付けて考えさせる発問の工夫」

旭川市立愛宕中学校二年 理科「雲のでき方」

「観察・実験を基に、雲のでき方を考える学習」

授業者 木村 直人

一 本時の目標と授業仮説

本時の目標を「気圧と気温の変化によって雲が発生したことを観察した結果から、雲ができる理由は、気圧が下がって気温が低下したことにより、空気中の水蒸気が凝結するためであることを記述できるようにする。」とした。また、実験結果を基に、「気圧と気温の低下」と「水蒸気の凝結」とを関連付けて考えることができるような発問を工夫することにより、本時の目標を達成することができると考えた。

二 授業仮説に基づく分析

主発問により、「気圧と気温の低下」と「水蒸気の凝結」とを関連させ、雲ができる理由を記述することができた。しかし、既習事項である「空気の上昇や膨張」も関連させ、雲の発生する理由を記述するまでには至らなかった。

三 本時の目標達成状況

主に雲が発生する様子と理由を学習プリントにまとめる場面において、目標達成状況を評価した。雲が発生する様子が分かりにくかったため、全員の観察・記録には至らなかった。

雲が発生する理由は、「気圧と気温の低下により、空気中の水蒸気が凝結するためである」と記述することができた生徒は、56%であった。

協力校
の実践

「残雪をしとめるチャンスに
着目させる発問の工夫」

旭川市立知新小学校五年 国語科「大造じいさんとガン」

「作品を自分なりにとらえ、

思いや考えが伝わるように朗読をする学習」

授業者 山名 正記

一 本時の目標と授業仮説

本時の目標を「大造じいさんが残雪をしとめなかった理由について、残雪の勇気ある行動や毅然とした態度を基に、まとめることができるようにする。」とした。また、二度あった残雪をしとめるチャンスに着目できるように発問を工夫することにより、目標を達成することができると考えた。

二 授業仮説に基づく分析

二つの主発問により、残雪の勇気ある行動や毅然とした態度が大造じいさんの心情を変化させたことを読み取らせることができた。

三 本時の目標達成状況

主に大造じいさんが残雪をしとめなかった理由をノートにまとめる場面において、目標達成状況を評価した。大造じいさんが残雪をしとめなかった理由について、残雪の勇気ある行動や毅然とした態度を基にまとめることができ、目標を達成することができた児童は、94%であった。なお、94%のうち、大造じいさんが残雪をしとめなかった理由について、残雪の勇気ある行動と毅然とした態度に心を打たれ、大造じいさんの気持ちをまとめることができ、A「十分満足できる」と判断される児童は、63%であった。



協力校
の実践

「人・もの・こと」にも着目させる

言語活動の設定

当麻町立当麻小学校二年 生活科「おみせたんけん」

「まちたんけんを通して、人とかかわりを深める学習」

授業者 西山 あずさ

一 本時の目標と授業仮説

本時の目標を「町探検したことを振り返る活動を通して、次の町探検で詳しく調べたい『人・もの・こと』について気付くことができるようにする。』とした。また、『もの』以外の『人・こと』にも着目させる言語活動を行うことにより、目標を達成することができると考えた。

二 授業仮説に基づく分析

一回目の探検では、『人・もの・こと』の『もの』について着目して調べていた。『もの』以外にも秘密があるか考えさせ、『人・こと』にも着目させる言語活動をグループや全体で行ったことにより、他にも着目する点があり、次の町探検で詳しく調べたい『人・もの・こと』に気付くことができた。

三 本時の目標達成状況

主に調べたい『人・もの・こと』を学習プリントにまとめる場面において、目標達成状況を評価した。次の町探検で詳しく調べたい『人・もの・こと』について気付くことができ、目標を達成することができた児童は、100%であった。

協力校
の実践

台形の面積の求め方を説明する

言語活動の設定

旭川市立正和小学校五年 算数科「いろいろな三角形・四角形の面積」

「既習の三角形や平行四辺形の面積を基に、台形の面積の求め方を考える学習」

授業者 山本 百里

一 本時の目標と授業仮説

本時の目標を「三角形や平行四辺形の面積を基に、台形の面積の求め方を考えることができるようにする。』とした。また、台形の面積の求め方を説明する言語活動を行うことにより、目標を達成することができると考えた。

二 授業仮説に基づく分析

小集団で台形の面積の求め方を説明する言語活動を行ったことにより、自分と同じ考えや新たな考えに気付く、自分の考えを確かなものにすることができた。また、全体交流で自信をもって発表したり、意見交換したりすることができた。

三 本時の目標達成状況

主に発表・交流する場面において目標達成状況を評価した。台形の面積の求め方を学習プリントに記述することができ、目標を達成することができた児童は、93%であった。なお、93%のうち、三角形や平行四辺形の面積を基に、台形の面積の求め方を多様に考えることができ、『A「十分満足できる」』と判断される児童は、14%であった。



自分の行動が及ぼす結果を深く考え、責任をもつことのできる誠実な行動がとれる心を育む授業



友達と互いに信頼し、相手のことを考え高め合い、友情を深めていこうとする心情を育てる授業

22 道徳教育 8/3・9/28

道徳の年間指導計画や個人見取り票の作成の仕方、道徳の時間の指導過程等、すぐに実践に生かせることを丁寧に御指導いただきました。人間の弱さに共感し、価値に迫る発問を考えることの大切さを改めて学ぶことができました。
(下川町立下川小学校 高桑恵理子)

研修講座寸描

24 生徒指導 8/4・9/29



中学3年理科で生徒自身がモデルとなった化学変化発表会



講義や実践交流、授業参観を通して、生徒指導の理論と実際について詳しく学ぶことができました。この講座で培った知識を生かし、今後は生徒の指導に当たっていききたいと思います。二日間、ありがとうございました。
(美深町立仁宇布中学校 棚瀬 泰宏)

生徒指導の機能を生かした小学5年算数科「分数」の授業



仲間とともに学芸会の目標を考える



講義では、特別活動の目標・内容について理解を深めることができました。「学校行事は学校の基軸である」ということを学ぶことができました。研究授業では、子どもが他者の良さを認め合うような展開となっており、大変刺激となりました。
(旭川市立東陽中学校 松尾 聡)



28 特別活動 9/15



学校行事を生かす学級経営の工夫とは

29 社会教育 9/21・22

学校・家庭・地域が連携した取り組みについて事例からとても参考にまりました。また、市町村教育委員会の方々と知り合うこともでき、社会教育・地域が学校と協力して子ども達を成長させることができたいと思います。ありがとうございました。
(富良野市立富良野東中学校 宇田 顕人)



地域の教育力向上のために



コミュニケーションを促進するアクティビティ



お互いの理解と信頼を深める授業「班活動を見直し、生活向上を図ろう」



子どもの主体的な意欲を高める授業「家庭学習を見直そう」

8 学級経営② 10/5

学級経営が授業など全ての活動の基本となること。そのために共通の目標に向かって共通の活動や経験を通して学級をつくっていくこと。小さな言葉がけなど。心に響く貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。

(旭川市立聖園中学校 佐藤 泉英)

30 校内研修 10/5



校内研究内容「付けたい力を育成する言語活動の吟味」に基づいた授業



(旭川市立北都中学校 難波 広寿)

校内研究の成果と生かし方について、わかりやすく講義をしていただき、また、知新小学校の取組と実際の授業を見せていただいたり、大変勉強になりました。資料を使った他校との交流も有意義なものでした。ありがとうございました。

校内研究を活性化させ、研究に向かう協働体制を確立するために



児童生徒との関わりにいかず解決志向アプローチについて



講義では、情報教育・生徒指導・教育課程経営について学びました。中でも、生徒指導と教育課程の話の中で出てきたSWOT分析の手法が印象に残っています。事象を客観的に分析し、今後に生かしていく目を養っていききたいです。

(中川町立中央小学校 高橋 誠)



31 ミニ道研 1/11・12



演習「ビジョンを実現するミドルリーダーの役割」

32 書に親しもう 1/12

その時その時のもののとらえ方や感情が書に表れることや楽しく書くことが何より書に親しむ近道であることを、実際に作品制作しながら学びました。

(旭川市立神楽小学校

下谷 祐樹)



毛筆で心を伝える作品制作



作品制作の前に「言葉（文字）との出会いを大切に」



具体的な実践について紹介された提言



剣淵中学校「ミニ講演会 校内研修」 10/25

新学習指導要領における教育課程編成
新学習指導要領における教育課程編成上の配慮事項について、理解を深めることができました。特に、「言語活動の充実」については、各教科の目標を達成するための手段であると改めて確認することができました。

(剣淵町立剣淵中学校 柴田 晃宏)



各学校における教育課程編成のねらいとは

出前講座寸描

聖園中学校「ミニ講演会 道德教育」 11/14

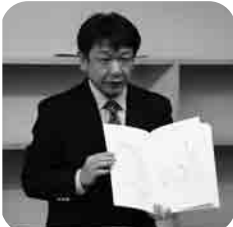


他者理解を深め、互いに学び合い、高め合う関係づくりについて

(旭川市立聖園中学校 須藤 和宏)

「認め合い活動」を深めるための
道德教育の実際
道德教育の目標や内容項目、道德の時間の役割などについて、理解を深めることができました。提示していただいた実践資料などを参考にさせていただき、人生について考えられるような道德の時間にしていきたいと思います。

名寄南小学校「特別支援教育」 11/17



どの子にもわかりやすい環境をつくるために

通常学級における個別支援について
「通常学級での特別支援」というテーマで、どの子にもわかりやすい教室・授業環境の整備、気になる子の行動分析から具体的な支援（手立ての試行・改善）について学びました。わかりやすく御指導いただき、大変ありがとうございました。
(名寄市立名寄南小学校 菊池ゆかり)

上教研事務局「特別支援教育」 11/24



学校のユニバーサルデザイン化に向けて

子どもの困り感の理解とその支援・特別支援教育の考え方を生かす

渡邊先生の講話を通して、発達障がいの特徴や支援の方法などについて理解を深めることができました。障がいを抱えている子の立場になって、協働体制で支援していくことが大切であると改めて感じることができました。ありがとうございました。
(上富良野町立上富良野西小学校 瀬波 俊直)

出前講座は

上川管内二十三日町村、各学校の校内研修支援に応えます。どうぞご活用ください。

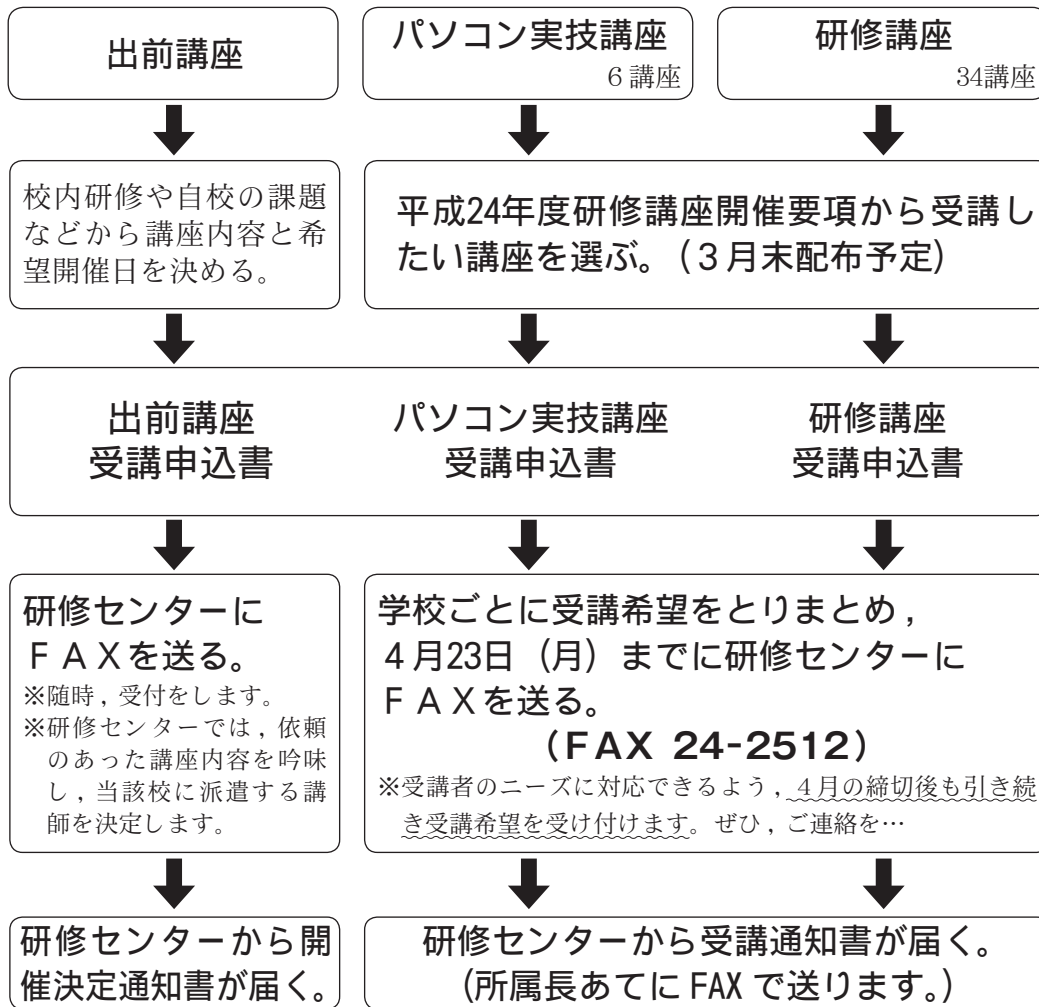
平成24年度 上川教育研修センター開催予定講座

番号	講座名	期日	研修内容の概要（上段：講座名 下段：平成24年度の重点テーマ）	授業
1	特別支援教育	5/16 ① 6/13 ②	一人一人に応じた指導の充実を図る特別支援教育 「児童生徒の障がいの特性に応じた自立活動の指導の在り方」(②で授業研究)	小・中
2	学級経営	5/17 ① 10/3 ②	子ども一人一人が存在感を実感できる学級経営 「確かな児童理解で信頼関係を築く学級経営」(②で授業研究)	小・中
3	学校事務実務	5/23・24	教育の円滑化を図る学校事務実務 「学校事務実務における今日の課題～教育予算における現状と今後の課題～」	
4	学校経営Ⅰ	6/7	新しい時代に対応した学校経営（採用2年目以降の校長が対象） 「未来を切り拓く活力ある学校経営の在り方」	
5	学校経営Ⅱ	6/8	新しい時代に対応した学校経営（昇任2年目以降の教頭が対象） 「スクールリーダーとしての教頭の在り方」	
6	読書活動	6/19	“読む・調べる”習慣の確立を目指す読書活動と学校図書館 「読書週間の定着を図る指導の在り方」	小
7	複式教育	7/3	主体的に学ぶ力を育てる複式教育 「学び方を身に付ける自主的、自発的な学習の工夫」	小
8	小学校外国語活動	7/4	言語や文化について体験的に理解を深める小学校外国語活動 「Hi, friends!」の効果的な活用の在り方」	小
9	指導技術基礎	7/26	指導力の向上を図る指導技術基礎 「基礎的な指導技術～電子黒板等 ITC 活動と板書の方法」	
10	国語科指導	7/27 ① 9/5 ②	伝え合う力をはぐくむ国語科指導 「伝え合う力を高める指導の工夫～『話すこと・聞くこと』における指導」(②で授業研究)	小・中
11	社会科指導	7/30 ① 9/6 ②	社会的な見方や考え方を育てる社会科指導 「基礎的・基本的な内容を身に付けさせる指導の工夫（問題解決的な学習・地理分野）」(②で授業研究)	小・中
12	算数・数学科指導	7/31 ① 8/30 ②	目的意識をもって主体的に取り組む算数・数学科指導 「算数・数学的な活動を位置づけた授業の在り方」(②で授業研究)	小・中
13	国際理解教育	7/31	国際社会で活躍する人材の育成を目指す国際理解教育 「人材活用と教材開発の在り方」	
14	理科指導	8/1 ① 9/5 ②	科学的な見方や考え方を育てる理科指導 「物理的・科学的な事物・現象に対する科学的な見方や考え方の育成」(②で授業研究)	小・中
15	外国語科（英語）指導	8/1 ① 8/28 ②	コミュニケーション能力の基礎を養う外国語科（英語）指導 「読むこと・書くこと」の指導と評価の在り方」(②で授業研究、小学校外国語活動の授業参観を予定)	中・小
16	生徒指導	8/3 ① 10/11 ②	児童生徒の自己実現を目指す生徒指導 「生徒指導の機能を生かした教育活動の在り方」(②で授業研究)	小・中
17	幼稚園教育	8/3	小学校への滑らかな接続を目指す幼稚園教育 「幼稚園における子どもの生活、発達特性、特別支援などを理解し、小学校への円滑な接続の在り方」	
18	道徳教育	8/6 ① 10/19 ②	豊かな体験に生かす道徳教育 「読み物資料を活用した授業の在り方」(②で授業研究)	小・中
19	技術・家庭科実技	8/6	生活を工夫し創造する技術・家庭科実技 「食生活と自立指導の在り方」	
20	いじめ・不登校	8/7	一人一人を大切に「いじめ・不登校」を未然に防ぐ指導 「『いじめ』の予防と対応の在り方」	
21	生活科・総合的な学習の時間	8/7 ① 8/30 ②	気付きの質を高め、探求的な学びを深める生活科・総合的な学習の時間 「小学校におけるキャリア教育の充実」	小
22	音楽科実技	8/28	豊かにかかわり主体的に表現する力を育てる音楽科実技 「歌唱の指導法の在り方」	中
23	体育科実技	8/28	運動に親しむ資質や能力の基礎を育て、体力の向上を図る体育科実技 「体づくりの運動、器械・器具を使つての運動遊び、器械運動」	小
24	学級活動	8/29	望ましい人間関係とよりよい生活を築く学級活動 「計画委員会」と「話し合い活動」の指導の充実」	
25	教育講演会	9/4	「元気な子どもを育てる学校づくり」～学校が、教職員が元気になるご講演 大阪教育大学監事 野口 克海 氏	
26	書写実技	9/11	日常に生きて働く書写力を育てる書写実技 「基礎・基本を徹底し、確実な定着を図る学習指導の在り方」	中
27	社会教育	9/20	学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの生きる力を育む社会教育 「地域全体で子どもたちを育てる実践～情報モラルの指導の在り方」	
28	図工・美術科実技	10/2	豊かな情操を養う図工・美術科実技 「絵画・彫刻」における学習指導の実践～表現と鑑賞における指導と評価」	小
29	校内研修	10/3	実践的指導力の向上を図る校内研修 「研修体制の構築と研究計画の立案」	小
30	保健安全指導	10/4	生命を大切に、豊かな心をはぐくむ保健安全指導 「学校における食に関する指導の在り方～学校給食と早寝・早起き・朝ごはん」	小
31	書に親しもう	1/7	自分なりの表現で書に親しむ文化講座 「心に残る言葉を題材にした小作品づくり」(午前 半日日程)	
32	絵に親しもう	1/7	自分なりの表現で絵に親しむ文化講座 「季節と日常生活の温もりを題材にした絵手紙」(午後 半日日程)	
33	ミニ道研	1/8・9	北海道立教育研究所によるコース別研修 1日目：言語活動 2日目：学習評価	
34	研修センター研究発表会	2/5	「思考力／判断力／表現力」をはぐくむ学習指導の在り方に関する第15次3か年計画の2年次の研究を発表～センター研究員の実践、研究協力校の実践～	
パソコン実技	A 校務のための表計算入門	6/1・7/13 8/16	成績や会計をはじめ、さまざまな校務に応じた表計算ソフトの基本的な操作について	
	B 1校務のための表計算活用	7/30・10/12	成績や会計をはじめさまざまな校務に応じた表計算ソフトの便利な活用について	
	B 2小学校校務のための表計算活用	8/24	小学校の校務に特化した表計算ソフトの便利な活用について	
	B 3中学校校務のための表計算活用	7/26	中学校の校務に特化した表計算ソフトの便利な活用について	
	C 学校で役立つ画像処理	6/15・10/5	視覚に訴える教材や各種通信、掲示物の作成に活用できる画像処理について	
	D 学校で役立つ Web 制作	6/29	ホームページの作成方法や管理、個人情報の取り扱いや情報発信の在り方について	
技	E 学校で役立つプレゼン活用	7/31・9/7	授業や各種発表会で効果的にプレゼンテーションするソフトの活用について	
	F 学校で役立つ動画編集講座	8/31	動画編集ソフトの基本操作の習得と、編集した動画の活用について	

～正式な日程は、4月にお届けする「研修講座開催要項」でご確認ください。～

平成二十四年度研修講座 受講手続きの流れ

上川教育研修センターでは、現在3種類の研修講座を開設し、毎年、千名を超える教職員のみなさんに受講いただいております。平成24年度の受講希望は4月より行います。たくさんのお申込みをお待ちしております。



新設講座紹介

新講座名	開催日	講座内容
指導技術基礎	7月26日(木)	学習指導に欠かせない指導技術を取り上げ、その効果的な方法や工夫について講義・提言・演習を行います。H24は、電子黒板の使い方と板書の工夫について行います。
幼稚園教育	8月3日(金)	幼稚園における子どもの生活、発達特性、特別支援などを理解し、小学校への円滑な接続の在り方について講義・提言を行います。
いじめ・不登校	8月7日(火)	いじめ・不登校を未然に防ぐ指導の在り方、そして、いじめ・不登校の対処の仕方について講義・提言を行います。
絵に親しもう	1月7日(月)	午後からの半日開催で行う文化講座です。H24は、心のこもった絵手紙づくりを行います。

※この用紙は再生紙(古紙70%)を使用しています。

発行日 平成二十四年三月一日
上川教育研修センター
〒077-0003
旭川市六条通四丁目
電話(0166)24-2501
印刷所 東信印刷株式会社



文化講座「書に親しもう」
受講者作品展
1/13～2/9

旭川凌雲高校
書道部作品展
12/15～1/5



旭川商業高校
書道部作品展
10/31～11/21

ギャラリー

今年度も管内教職員や各学校生徒による心のこもった作品展を開くことができました。出展された方々はもちろん、作品展へと足を運んでくださった方々にお礼申し上げます。